



令和5年 9月 29日

全ての患者さんに寄り添うことができる特別な空間を創出したい
～ クラウドファンディングに挑戦します ～

宮崎大学医学部附属病院では、産婦人科外来が全ての患者さんに寄り添うことができる空間の創出を目指して、10月2日(月)より550万円を目標としてクラウドファンディング(「READYFOR」の活用)による資金調達を開始します。

医学部附属病院は、2012年度にはドクターヘリが運航を開始し、2021年度年には総合周産期母子医療センターがリニューアルするなど、県内全域の病院や診療所と連携して地域医療を支える最後の砦とも言うべき特定機能病院として県民の安全・安心を守ってまいりました。

一方で、命や診療に直結するようなことについては優先的な予算配分がなされるものの、その他の命や診療に直結しないようなことに関しては十分な予算が配分されない状況にあります。本学医学部附属病院産婦人科病棟には、胎児や乳幼児に何らかの異常などが原因で来院される患者さんがほとんどで、来院される患者さんの心の不安を少しでも取り除くような空間創出が喫緊の課題となっています。また、2023年5月に来院した患者さんを対象に実施したアンケートでは、待合室のソファーや椅子、授乳室やモニター室(計測室)などの充実を求める声が多く寄せられました。

そこで今回、宮崎県における産婦人科医療の最後の砦である産婦人科外来を少しでも早く改修し、患者さんに寄り添うことができる特別な空間を創出するために、クラウドファンディングに挑戦することとしました。

つきましては、メディア関係の皆様向けに、下記のとおり説明会を実施させていただきますので、取材についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

■日時:2023年10月5日(木)10:00~10:30(報道受付開始 9:30)

■場所:宮崎大学清武キャンパス 管理棟2階 ミーティングルーム(宮崎市清武町木原 5200 番地)

■その他:

- ・当日の現地取材の場合、以下の担当まで事前にご連絡いただきますようお願い致します。
- ・クラウドファンディングへの挑戦(公開期間:10月2日~11月29日)
- ・クラウドファンディングでも画面(プレビュー限定共有)にて、関係者の想いをはじめ、現状の様子や改修後のイメージ図などを閲覧することができます。(右記QRコード →→→)



【内容に関する問合せ先】

医学部附属病院産婦人科教授 桂木真司
TEL:0985-85
e-mail:shinji_katsuragi@med.miyazaki-u.ac.jp

【発信元・取材申込先】

医学部総務課総務係
TEL:0985-85-9014
e-mail:medsomu@med.miyazaki-u.ac.jp



宮崎大学医学部附属病院
産婦人科外来

応援よろしく
お願いします!



みんなの場所 プロジェクト始動。

すべての患者さんに寄り添える特別な場所でありたいという思いから、クラウドファンディングに挑戦します。



外来待合室でアンケートを実施しました！

皆様のご意見を形にします。

——— 今回皆様からいただくご寄附の使用目的 ———

1. 外来授乳室の整備： 広いスペースの確保
おむつ交換台の設置
2. 外来の椅子の補充： 座り心地良い椅子
3. 診察室の超音波モニターの設置

本プロジェクトへのご寄附は、個人、法人それぞれ「税制上の優遇措置」を受けることができます。

プロジェクト
責任者

宮崎大学医学部附属病院 産婦人科
主任教授 桂木 真司

問合せ先

宮崎大学総務広報課

Email : crowdfun@of.miyazaki-u.ac.jp
TEL : 0985-58-2851

URL または上記QRコードにアクセスしていただき、お手続きください。銀行振込またはクレジットカードでの
ご支援が可能です。(VISA / MasterCard / JCB / American Express / Diners)

<https://readyfor.jp/projects/125151>